



地域キャリア教育協力隊

—「地域の人々」「企業」「学校」が共存しながら育てるキャリア教育を目指して—
繋がり・広がるコミュニティで小中学生たちを温かく包み育てよう！



代表者からのご挨拶

代表 松村 洋子



代表兼キャリアコンサルタントの松村洋子でございます。

私がキャリアコンサルタント(国家資格)を取得した理由は、自分の街の小中学生たちのキャリアの底上げをしたかったからです。義務教育の現場で働くキャリアコンサルタントの数は民間企業に比べて圧倒的に少なく、また需要も確立していない中、この役割は必要不可欠であると考え、一念発起いたしました。

また、この会の発足にあたって、応援してくださる方々のお力添えが、私の背中を押してくださいました。

これから先も、同じ志を持った仲間と共に時代のニーズに合ったキャリア教育を継続して進めていきたいと思っております。

現在その輪は、大きく広がり、協力を頂ける事業者の数は50団体を超えました。

これからもご協力いただける方々の輪を大きく広げ、より充実したキャリア教育を目指して活動を継続していきますので、ご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

【取得資格】

- ・国家資格キャリアコンサルタント(登録No.16183803/登録年月日 2016.10.22)
- ・キャリアコンサルタント実技試験対応アドバイザー
- ・ジョブカード支援アドバイザー※
- ・精神対話士



『地域キャリア教育協力隊』はどんな団体？

- ・地域キャリア教育協力隊は、地域の学運協・青少対など、ボランティアの方々のご協力のもと、キャリアコンサルタントを中心に学校の先生方とその時代にあったキャリア教育の企画を变幻自在に考え、地域の企業の方々の応援をいただきながら、公立の小中学校でキャリア教育(職業講話及び職業体験)を実施しております。
- ・地域キャリア教育協力隊は、地域の大人達が地域の小中学生を育て、その小中学生が大人になり、同じようなサイクルを作っていくという社会教育の良い循環(ソーシャルキャピタル)を進めていくとともに、「地域の馴染みのある企業に憧れや希望をもって就職する」「自分達の街は自分たちで守る(地方創生)」も視野に入れて、活動を進めています。

地域キャリア教育協力隊が推し進めるポイント

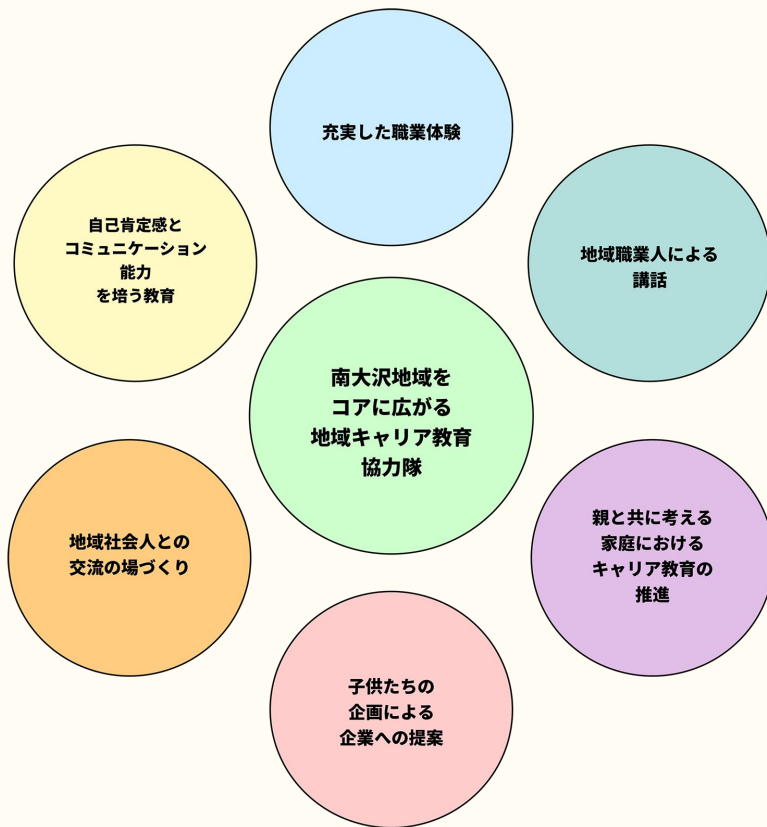
- ・国家資格キャリアコンサルタント監修のもと、先生方と共にその時代に合ったキャリア教育の企画を考え、実施する。
- ・キャリア教育を通して、「学校」「地域ボランティア」「地域の企業」が横につながる(地域社会全体で見守り育てる人的インフラの整備)
- ・心理学及びキャリア理論を取り入れた教材をもとに、職業観、就労観を培い、自己肯定感を高める(自分発見等)
- ・地域の大人たちによる社会教育の良い循環づくり(ソーシャル・キャピタルの実践)
- ・地域の企業に親しみをもち、自分の育った街の企業で働き、街おこしを実践(地域企業のご協力による地方創生)
- ・経験豊富な地域住民から小中学生たちにキャリアの学びを継承してもらう(地域住民の活躍の場作り)

地域キャリア教育協力隊の『MISSION』

地域の企業・学校・地域ボランティアの人々を結び付ける「パイプライン役」を担い、
未来を背負っていく小中学生たちのキャリア教育を推進する。

キャリア教育理念

小中学生たちの未来を応援する“キャリア教育のサマリー”



「キャリア」って何？

「キャリア」は広い意味で人生全般を指します。

人は赤子の時から死ぬ時までずっと学び成長し続けます。

学んだことは全て「キャリア」になります。

キャリア教育の進め方

- ・学校の先生方と良好な関係を築きながら、キャリア教育のサポートをいたします。
- ・年度ごとに社会情勢に合わせた情報を収集し、先生方と共に企画を考えていきます。
- ・小中学生たちに有意義な出会いや発見をもたらす企画を立て、自己肯定感を高め、職業に対する恐怖心を取り除きます。
- ・職業観や勤労観を培うことを基本に、自身で俯瞰させ、自分を知る作業を行います。
- ・社会情勢の急激な変化に対応できる能力を育て、職業に対する意識を高めます。
- ・キャリア教育の集大成として、小中学生が協力いただいた企業や団体の講話者に感謝状を贈り、さらに学び返しをすることで完結させます。

活動実績学校

【小学校】

八王子市立長池小学校
八王子市立宮上小学校
八王子市立柏木小学校
八王子市立南大沢小学校

【中学校】

八王子市立松本中学校
八王子市立宮上中学校
八王子市立南大沢中学校
八王子市立高尾山学園
八王子市立長房中学校

※毎年、3校～5校実施し、1校につき、6～16事業者様にご参加いただいております。

活動概要

【パターン1】-学校内に於いて、2日間でキャリア教育を実施-

- ・1日目 職業体験の事前学習として、キャリアコンサルタントが全体講話をします。(場合によっては、1事業者様にご参加いただき職業先行体験もセットで実施します)
実施コマ数：1～2コマ(45分～50分授業×1～2)
- ・2日目 事業者様にご参加いただき、職業体験を実施します。
実施コマ数：2コマ(45分～50分授業×2)

【パターン2】-学校内に於いて、半日でキャリア教育を実施-

- ・2部編成(①全体講話 ②職業講話&体験)で、主に午前中の時間を使用して実施します。
実施コマ数：3コマ(45分～50分授業×3)

【職業講話や職業体験の概要】

各教室に1事業者様ずつブースを作り、小中学生グループ(5名～15名)が事前に指定された教室に出向き、職業講話を聴き、職業体験をします。
職業講話や職業体験(1～3回)を実施し、小中学生はそれぞれで異なる事業者様の教室に出向きます。

【お金の教室・整理収納の全体講話】

小学校では、「お金の教室」と題して、ファイナンシャルプランナーの方が「お金の大切さ」をテーマに全体講話をします。
また、整理収納アドバイザーの方が「分類別収納学」をもとに、整理整頓の楽しさを教え、自己肯定感を高める全体講話をします。



地域キャリア教育協力隊



左：講師紹介風景
右：キャリアコンサルタント講話風景
下：各事業者の講話&体験風景



コールセンター体験



警察官による講話



美容クリーム製作体験

【公立小中学校におけるキャリア教育の一例】

小学6年生→遊び感覚で学ぶ職業体験
中学1年生→職業人による講話+職業体験
中学2年生→職業人による講話+職業体験

キャリア教育を終えてみて

【小中学生から】

- ・世の中には知らない職業が多くある事を知り、夢を考えるきっかけになった。
- ・職業のお話を聴く前にキャリアコンサルタントの方から、人の話をしっかり聴くことの大切さを教えてもらったので、きちんと聞くことができた。
- ・働く人と親しく話ができたと、将来の仕事に対しての怖さが薄れた。
- ・このキャリア教育の経験は将来の仕事を選ぶ時に必ず役立つと思った。
- ・事務職が合っていると思ったが、接客の体験が楽しく、合っていることに気づいた。
- ・プラス思考がいかに大切かを知った。
- ・自分の個性を大切にすること、他人と自分は違っていいということを知った。
- ・これからのテクノロジーの進化によって、未来がどうなるか知れた。
- ・仕事には苦勞もあるが、その苦勞も自分のためになることを知った。

【事業者様から】

- ・仕事上でキャリア講話の内容をもとに、俯瞰しながら仕事ができるようになった。
- ・社員の研修としても活用できる上に、小中学生たちとふれあい、繋がる喜びを感じた。
- ・社会貢献事業の一員として、活動させてくれている感謝するとともに、この取り組みを誇りに思う。
- ・自分の職業講話によって、将来を担う小中学生たちへ継承できることに喜びを感じた。
- ・キャリア教育を共にした仲間とのチーム意識が強固になった。
- ・他の会社の方々と知り合えたり、他の会社の社会貢献の多彩な内容を知ることができた。
- ・事業者同士の交流をきっかけに、横に繋がることができて嬉しい。
- ・また継続してやりたい！

【地域ボランティアスタッフ(サポートスタッフ)から】

- ・地域の小中学生のために役に立つことができて嬉しく思います。
- ・事業者様の講話を通して、私自身も多くの知識を学べました。
- ・小中学生たちと事業者様が和気あいあいとしていて、とてもほっこりしました。
- ・未来を担う小中学生たちのために少しでも力になれて良かった。
- ・スタッフ同士で仲良くなり、地域の親しい人が増えた。
- ・自分自身や小中学生のためにもなるキャリア講話を聴けた。
- ・校長先生や、担任の先生と親しく話できて楽しかった。
- ・地域の企業の方々と知り合うことができて、その企業に親しみが湧いた。
- ・小中学生たちに感謝されたりすることがあり、小中学生たちの可愛さを改めて実感した。
- ・また継続してずっとやりたい！

【学校から】

- ・キャリアコンサルタントの専門知識から導かれた企画と一緒に考えることができ、充実したキャリア教育の時間が取れた。
- ・殆どの企画を提案してくれたので、キャリア教育の内容を考える時間を他の業務に充てられた。
- ・教員にとっても、キャリア人として為になることを知れて良かった。
- ・小中学生たちにとって、身近に職業人を感じるいい機会になったと思う。
- ・多くの企業の方々との交流により、2年生の職場体験先として打診ができた。
- ・保護者の方々から充実したキャリア教育を実施していることに感謝された。
- ・小中学生の興味深く、前向きに取り組む姿を各所で目にした。
- ・小中学生たちは、職業人と友達感覚で話のキャッチボールができ、職業人に対する親しみを感じる事ができた。

など多数のご感想を頂いております。

”地域のボランティアの方々及び地域の事業者の方々へ”
『私たちと一緒に小中学生たちのキャリア教育に参加してみませんか？』